



親切・丁寧・平等
医療法人社団 和恵会

みちくさ

年2回発行

第44号

2024年10月
発行

表紙紹介

- ・入野ケアセンターでは、レクリエーションで浜松まつりを開催しました。ご利用者様は法被を着て太鼓や練りなど楽しまれました。



※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

特集
P4、5

介護施設におけるDXの取り組みについて

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 理事長あいさつ…………… 2 | ヘルパーセンター浜松の紹介 …… 6 |
| みずほケアセンター在宅強化型老健… 3 | 季節の写真…………… 7 |
| 介護施設におけるDXの取り組みについて… 4、5 | |

お問い合わせは
法人本部まで

TEL.053-440-5505

【メールアドレス】
honbu@kotou-wakeikai.com

<http://www.kotou-wakeikai.com/>

QRコードからご覧いただけます

ホームページ



Instagram



フォロー
お願いします



医療法人社団 和恵会
理事長 猿原 大和^{ひろ かず}

日頃より医療法人社団和恵会の各種サービスをご利用頂き、誠に感謝しています。法人職員を代表し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、以前より政府は、2025年を「地域医療構想」の最終年と定めていました。地域医療構想とは、将来人口推計をもとに必要となる病床数を医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現する取り組みです。もちろん、この背景にあるのは、わが国の超高齢社会の問題になります。2020年にCOVID-19のパンデミックにより大混乱が起きましたが、この取り組み自体は変わっていません。新興感染症等に対応できる地域における医療体制の構築に向けた取り組みを新たに加えられ粛々と進められています。そのような流れの中で、今回、医療介護報酬の同時改定が行われたので、概要にはなりますが、介護施設を中心にお話させていただきます。

介護保険施設の内、介護老人保健施設（老健）は、全国で35万人が利用する巨大な施設です。ちなみに後述する介護医療院は、まだ6万床にもなりません。今回、老健では円滑な在宅復帰に向けた取組を更に促進するための改定がなされました。口腔・栄養・リハビリテーションへの取り組み強化に加え、入所や退所前後に訪問指導することや、専門職である支援相談員、社会福祉士を配置することで、老健が在宅復帰に向けた施設であることを強く進めています。また以前より、入所者様への医療の提供や看取りを行うことも進められ

てきましたが、より評価される形となりました。高齢になると、複数疾患を抱え、多剤内服していることが多いのですが、その一方で深刻な副作用を引き起こすことも分かっています。しかし、外来診療中の短い時間に減薬することは困難でした。実際に、老健入所時に6剤以上内服している方を半数に認めます。今回の改訂では、老健入所中にかかりつけ医と連携し減薬することも評価されています。

介護医療院は2018年度に新しく誕生した介護施設になりますので、今回の改定による大きな変更はありませんでした。しかし、これから高齢者が高齢化するわが国にとって、介護医療院は非常に大切な役割を担うはずで。今後、85歳以上の方はほぼ確実に増えます。85歳以上の方は、介護に加え医療の必要性が高いことが分かっており、認知症の対応や看取りも含めた総合的なケアが必要になることが多いです。介護医療院にもⅠ型とⅡ型があります。Ⅰ型介護医療院には夜間・休日でも医師が常駐していますので、このような方々でも安心して過ごすことができます。今回の改定では、あらためて身体拘束の適正化について言及していました。実際、まだまだ多くの介護施設で認知症の方に身体抑制を行っているところが多いようですが、当法人は開設以来、身体拘束を行っていません。利用者様の尊厳を守ることを理念としているからです。

その他に今回の改定で、介護施設が協力医療機関と連携することが評価されました。形だけのものではなく、月に1回以上の会議が義務化されています。このため、当法人すべての施設でも複数の医療機関と契約しました。また、今回の改定を受け、みずほケアセンターを加算型老健から在宅強化型老健に移行しました。リハビリスタッフを手厚く配置し、より在宅復帰に向けての機能を強化した老健になります。利用者様、入所者様には、再契約などでご迷惑をお掛けして、申し訳ございませんでした。

職員一同、自施設の事だけではなく、地域の医療・福祉の向上のため、これからも努力して参りますので、今後ともご支援頂きますよう、よろしくお願いいたします。

みずほケアセンター在宅強化型老健

みずほケアセンターではリハビリスタッフを手厚く配置し、在宅復帰に向け充実したリハビリの提供を行っています。
在宅復帰に向けた話し合いを毎月を行うことで、ご利用者様・ご家族様のニーズや状態を確認し、その方に合った形の在宅復帰を支援しています。

介護老人保健施設は5つに区分されています

超強化型

在宅強化型

加算型

基本型

その他

上に行くほど
高い基準を
クリアしています

廊下を浜名湖に見立てて歩行訓練を行っています

毎月行われる
カンファレンス



充実した
リハビリ



リハスタッフの
手厚い配置



今、湖西ですね!



在宅復帰の前には、ケアマネジャーや
居宅サービス事業者様を招いての退所
前カンファレンスを行い、在宅復帰に
向けた調整を行います。

在宅復帰



居住系施設
・グループホーム
・サービス付き高齢者住宅
・有料老人ホーム

入所



入院

在宅復帰



入所 (リピーター)

通所リハビリ

ショートステイ

訪問リハビリ

在宅復帰後はみずほケアセンターの
通所リハビリや訪問リハビリ、ショール
ステイ等、在宅系サービスを継続して
ご利用いただけます。

※居住エリアによってはご利用いただけません

利用者様のニーズに合わせ様々な形の在宅復帰を支援します。

①ご自宅へ リハビリで目標達成し自宅に帰りたい方、環境調整の間入所したい方

入所前	3ヶ月	4ヶ月～
自宅・病院	みずほケアセンター	自宅 ※退所に際し、通所系・訪問系等の在宅サービスもご提案します。

②住み替え 次の居住先を探す間や入所待ちの期間に居場所が必要な方

入所前	3ヶ月	4ヶ月～
自宅・病院	みずほケアセンター	居住系施設 (サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム) ※利用者様の状態に合った施設をご提案します。

③リピーター リハビリを継続的に利用し、できるだけ自宅での生活を続けていきたい方、介護負担軽減のためご家族が定期的に休息したい方

入所前	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月
自宅・居住系施設・病院	みずほケアセンター	自宅・居住系施設	みずほケアセンター	自宅・居住系施設

介護施設におけるDXの取り組みについて (デジタルトランスフォーメーション)



◎介護DXって何???

介護 DX とは、介護現場でデジタル技術を活用して、業務の効率化や生産性向上、サービスの質の向上を図ることです。具体的には、介護ロボット、利用者情報の収集・分析、テレワークの活用などが行われています。これにより、介護職員の負担が軽減され、利用者様にもよいサービスが提供できるようになります。

〈介護 DX の目的〉

一少ない人員でも業務を遂行できるようにする
一業務の効率化や生産性の向上、職員の負担軽減を図る

介護 DX は、介護業界の課題解決に向けて、デジタル技術を活用する取り組みです。適切なツールの活用や注意点に留意しながら推進することで、業務の効率化や生活の質の向上などの効果が期待されます。

◎DX推進委員会設置から

生産性向上委員会の立ち上げ

医療法人社団和恵会では介護 DX を推進するために各施設各分野の代表者が中心となって「DX 推進委員会」が設置されています。この委員会では、介護現場（各部署）の課題を分析し、デジタル技術の活用方法を検討しています。また、介護 DX に関する政策提言を行い、介護事業所への支援拡充を求めています。

〈DX 推進委員会の活動内容〉

- 一DX 推進委員会は、介護業界の課題である人手不足や離職、若者世代の介護離れを解決するために設置しました
- 一委員会の目的は、現場の課題を抽出・分析し、利用者の安全と介護サービスの質の確保、職員の負担軽減につながる方策を検討することです
- *他施設の見学・学会の参加・フォーラムの参加等による情報収集
- *毎月の DX 推進委員会では情報交換や機器のデモを行っています

〈生産性向上委員会の立ち上げ〉

- 一DX 推進委員会と生産性向上委員会はいずれも企業や組織の生産性向上を目的としています
 - 一業務の効率化や働き方改革、サービスの質の向上など、共通の目標を持っています
- DX 推進委員会と生産性向上委員会は密接に関連

しており、両委員会が連携して取り組むことで、より効果的な生産性向上が期待できます。デジタル技術の活用と現場の課題解決を両輪として、組織全体の生産性向上に取り組むことが重要です。
*毎月の課題の抽出と経過の報告をしています

◎介護ロボット等導入施設と 機器の紹介

〈眠りスキャン〉 湖東病院

「眠りスキャン」は見守りシステムです。マットレスの下にセンサーを設置することで、ご利用者様の睡眠状態を自動的に監視することが出来ます。具体的には寝返り、呼吸、心拍数などの体動を検知し、睡眠の深さや起床、離床などの状態を把握することが出来ます。
利用者様の安全と健康、そして職員の負担軽減に貢献しながら、介護の質の向上にも寄与しています。



〈コミュニケーションロボット「PARLO（パルロ）」〉

入野やわらの家

パルロは、人と楽しいコミュニケーションを行うことができるロボットです。従来のロボットとは異なり、単なる音声再生ではなく、自然な会話が可能です。記録ではなく記憶して、気軽な会話を行えるのが特徴です。

*レクリエーションもできます ※導入予定



〈訪問自動調整クラウド〉 訪問サービス

訪問自動調整クラウドは、訪問診療や訪問看護、訪問介護などの訪問サービスの効率的なスケジュール管理を支援するクラウドサービスです。人工知能（AI）を活用して、訪問先や訪問時間、職員の稼働状況などを自動的に最適化し、スケジュールを作成することが出来ます。



〈トロミサーバー〉 和恵会ケアセンター

トロミサーバーは、とろみ付きの飲料を簡単に作ることができる機器です。高齢者や嚥下障害のある方など、とろみが必要な方に適しています。最大2リットルの飲料を約2分で調理でき、大人数への提供に最適です。



〈サポートジャケット〉 白脇ケアセンター

サポートジャケットは、着用者の姿勢を理想的な状態に導き、背筋や腹筋などの体幹筋を正常に機能させることで、身体への負担を軽減するウェアです。特殊な構造により、背骨から骨盤にかけての「もう一つの体幹」を形成し、理想的な姿勢を保つことができます。



〈介護 DX の今後の取り組みについて〉

1. デジタル技術の積極的な導入
2. データ活用の推進
3. 人材育成の強化
4. 業界全体での DX 推進体制づくり
5. 政策提言と制度改革の働きかけ

介護 DX の推進には、介護事業者の経営基盤の強化も重要です。介護報酬の適正化や、介護人材の確保・育成に向けた支援策の充実が期待されます。介護 DX の取り組みを通じて、介護サービスの質の向上と職員の負担軽減が実現できると期待されています。今後も、介護現場のニーズに合わせた継続的な取り組みが必要不可欠です。

* 以上の文章はすべて AI が様々なデータを参考にし、情報を生成したものです

* 一部言葉を入れ替えています



展示会

ヘルパーセンター浜松ってどんなところ？

ヘルパーセンター浜松（777）

既読
11:22

ヘルパーセンター浜松ってどんな所ですか？

ヘルパーセンター浜松は、訪問介護事業所です。
現在14名の訪問介護員が勤務しています。

11:29

ご自宅で生活されている高齢者の方が、安全で安心した在宅生活を一日でも長く送る事が出来るよう、サービスを提供させていただいています。

11:29

既読
11:40

訪問介護ってどんなサービスですか？

高齢者の方が可能な限りご自宅で自立した日常生活を送る事ができるよう、利用者様のご自宅を訪問し食事・排泄・入浴等の身体介護や掃除・洗濯・買い物・調理等の生活援助をします💡

11:48



11:48

既読
11:58

どんな方が利用できますか？

要支援1・2、要介護1～5の認定の方が利用できます。

12:03

既読
12:08

利用までの流れを教えてください

- ①ケアマネジャーにヘルパーセンター浜松を利用したいと相談して下さい
- ②ケアマネジャーからヘルパーセンター浜松に連絡が入ります
- ③日程調整（担当者会議等）を行います
- ④契約をします
- ⑤サービス利用開始となります

12:15

既読
12:21

もっと話を聞きたい場合はどこに連絡すればよいですか？

053-440-1200 担当：橋本です

12:26

お気軽にご連絡ください! ☎

12:26



季節の写真

各施設で季節に沿った行事の写真をご紹介します。

4月



5月



6月



7月



8月



9月



※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

〈介護医療院〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

介護医療院 湖東病院(169床) 〒431-1111 浜松市中央区伊左地町8151

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

湖東ケアセンター(60床)

湖東クリニック(内科)

TEL.053-486-2222(代表) FAX.053-486-2618

北部地域連携室 TEL.053-486-2222 FAX.053-486-2618

伊佐見訪問看護ステーション TEL.053-486-3883 FAX.053-488-5525

ケアプランセンター湖東 TEL.053-486-5566 FAX.053-488-5525



伊佐見山崎線バス停湖東病院前下車

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

白脇ケアセンター(100床) 〒430-0846 浜松市中央区白羽町1424

TEL.053-444-3131(代表) FAX.053-444-3132

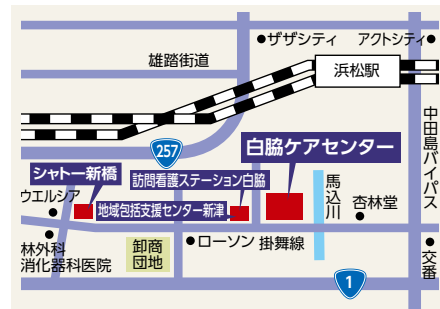
〒432-8053 浜松市中央区法枝町248-3

訪問看護ステーション白脇 TEL.053-444-3030 FAX.053-444-3005

ケアプランセンター白脇 TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

ヘルパーセンター浜松(白脇出張所) TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

〈浜松市受託事業〉高齢者相談センター新津

地域包括支援センター新津 TEL.053-444-3333 FAX.053-444-3335

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

シャトー新橋 〒432-8058 浜松市中央区新橋町1245

TEL.053-442-8800 FAX.053-442-8810

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

和恵会ケアセンター(100床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6413

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

和恵会医療院(80床)

和恵会クリニック(高齢者精神科・内科)

TEL.053-440-5500(代表) FAX.053-440-5501

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

入野ケアセンター(150床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6417

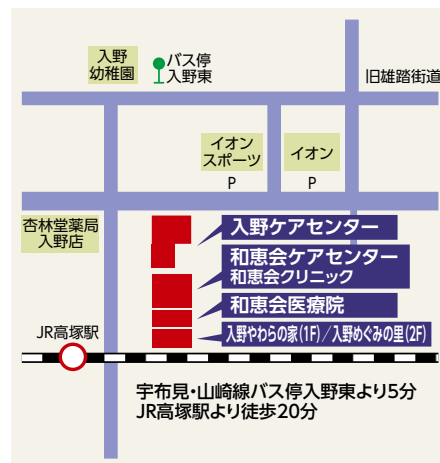
TEL.053-440-1200(代表) FAX.053-440-1201

南部地域連携室 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201

訪問看護ステーション入野 TEL.053-440-3000 FAX.053-440-1551

ケアプランセンター入野 TEL.053-440-1203 FAX.053-440-1201

ヘルパーセンター浜松 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201

宇布見・山崎線バス停入野東より5分
JR高塚駅より徒歩20分

〈認知症対応型共同生活介護・グループホーム〉

入野やわらの家[1F](18床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6410

TEL.053-440-3977(代表) FAX.053-440-9502

〈地域密着型通所介護〉

入野めぐみの里[2F]

TEL.053-440-9500(代表) FAX.053-440-9502

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

みずほケアセンター(100床) 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-36

TEL.053-414-2220(代表) FAX.053-414-2225

ケアプランセンターみずほ TEL.053-414-2222 FAX.053-414-2225

ヘルパーセンター浜松(みずほ出張所) TEL.053-414-2220 FAX.053-414-2225



高台線41バス停高丘町農協より徒歩3分

やまと株式会社

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

シャトー高丘 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-30

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557

〈福祉用具貸与・特定福祉用具販売〉

やまとメディカル 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-30(シャトー高丘内)

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557

社会福祉法人 行和会

〈小規模多機能型居宅介護〉

舞阪の家 〒431-0214 浜松市中央区舞阪町弁天島2658-51

TEL.053-597-0170(代表) FAX.053-597-0177

〈地域密着型介護老人福祉施設〉

こうこうの里 〒432-8061 浜松市中央区入野町10825-1 TEL.053-440-7733 FAX.053-440-7738

〈特別養護老人ホーム〉

葵の里 〒433-8111 浜松市中央区葵西6丁目10-62

TEL.053-420-2220 FAX.053-420-2255